2019. 1 No. 323

謹んで新年のお喜びを申し上げます

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会　会長　行森　良一

平成 31 年を迎え新年のご挨拶を申し上げます。今年のお正月は雪も少なく穏やかな年始となりました。皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたことをお喜び申し上げます。

平成 30 年の漢字一字には「災」が選ばれました。2 月の北陸や福井県の豪雪災害、6 月に起きた大阪府北部地震、7 月の西日本豪雨災害、8 月の台風 21 号、9 月に北海道胆振（いぶり）東部地震、台風 24 号など、自然災害の多い年でした。災害に遭われた方の、1 日も早い復興をお祈りすると共に、今年は、災害が少しでも少ない事をお祈りいたします。

さて、昨年は臨床検査業界の念願であった「医療法等の一部を改正する法律案」が可決成立し、病院等の施設において検体検査を行う場合の精度確保と、臨床検査技師等に関する法律の改正も行われ、昨年 12 月 1 日から適用になりました。今回、関係省令の公布で明らかになったことは、病院等に精度管理責任者の配置、標準作業書、日報等の常備が義務化されたことです。正確で適正な検査値を診療側に提供することは、国民に安全で安心な医療を提供するということに繋がると思います。

2025 年には団塊の世代が 75 歳以上の後期高齢者となり、要介護、認知症高齢者が急速に増加すると推定されています。政府は 2025 年度問題として、持続可能な社会保障制度とするために医療提供体制の見直しをすでに開始しています。「病院完結型医療」から患者を地域で連携して支える「地域完結型医療」へと大きな転換が進められて、急性期病床を縮小し、回復期・慢性期病床を増やし、更に在宅医療を充実する方向で国は医療・介護の改革を進めています。私たち臨床検査技師もこのような時代背景をしっかりと捉えて、それに担う医療人の一員としてこれから進んで行かなければならないと思います。「検査室の働き方改革」～臨床検査技師の価値～について考えていかなければならないと思います。

結びとなりますが、本年も役員一同全力で会務にあたりますので何卒ご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。今年が皆さまにとりまして有意義な年でありますよう祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

（ い わ て ）

平成 30 年度第 3 回理事会　議事録

日時：平成 30 年 12 月 8 日（土曜日）

場所：アイーナ 8 階 801 会議室

出席者：行森良一、菊池英岳、畠山秀樹、宮本祥一、高橋一博、川村将史、畠山裕司、
小野寺絵美、相原淳路

Ⅰ報告事項（行森）

・第 2 回北日本支部幹事会について

11 月 9 日に北日本支部幹事会が行われ出席した。北日本支部の平成 30 年度から 31 年度の学術部門長、部門員名簿（別紙）が資料として配布された。部門長の変更が多くあった。北日本支部の幹事（副支部長）は山形市立病院済生館の居鶴一彦さん、学術部門長のトップは新潟医療福祉大学の渡邊博昭さんになった。支部の運用マニュアルを各部門長、部門員が統一して運用できるようにマニュアルを来年度から使用出来るよう作成する予定である。医療法等の一部を改定する法律が平成 30 年 12 月 1 日に施行され、精度管理責任者を置くことを義務づけられたことが、日臨技理事より報告があった。まだ年度途中ではあるが、北日本支部の各研修会の会計報告があったが、今のところ赤字を出した研修会はなく受講者も多く参加した。31 年度の研修会予定（別紙）は 9 月開催予定の微生物部門と生物化学免疫部門の研修会がバッティングしており開催日を調整中である。10 月 5 日、6 日に山形で第 8 回北日本支部医学検査学会が開催され、会場は山形テルサ、霞城セントラル他で行われる。第 68 回医学検査学会は 5 月 18 日、19 日に下関市で開催される。6 月には青森県と福島県の医学検査学会が開催、岩手県医学検査学会は 10 月を予定している。平成 32 年度の第 69 回医学検査学会は 4 月 25 日、26 日に仙台国際センター他で開催される予定である。衛生検査所地区委員会調査指導員の役員の改正の時期が来ており、岩手県では総合花巻病院の伊藤元会長が委員になっている。引き続き伊藤元会長に留任して頂くこととなった。

Ⅱ議題

・日本臨床検査技師連盟について

日本臨床検査技師連盟の加入者数は低調であり、特に岩手県の加入者数は 10 名である。臨床検査の発展並びに臨床検査技師制度の向上の為にも加入して頂きたい。公務員の加入についての考え方は各県問題になっているらしいが、日臨技としても今後、公務員の連盟加入について見解を出す予定である。公務員が個人で加入するには問題ないと思われるが、地方公務員法では施設内で政治活動や勧誘は行ってはいけないこととなっている。国会議員等に対する渉外活動は必要であり臨床検査技師の地位向上の為にも連盟に加入して頂きたい。平成 31 年からは年会費 3000 円となる。協議の結果、理事は最低限加入することとなった。

・サイボウズの利用停止について

来年 4 月にサイボウズ Live が終了する。サイボウズに代わる無料グループウエアにはサイボウズと同様の機能があるが、セキュリティー等に問題がある。サイボウズ Office を月 1 人 500 円で 33 名利用するとして年間 198,000 円経費が増加する。岩臨技で取り扱うデータは個人情報を含んでいるものがあるので情報漏えいはあってはならない。協議の結果、来年度はサイボウズ Office を利用することとなった。

・ホームページの作成について

現在の岩臨技のホームページはボランティアで行っており個人に負担が掛かっている状況である。ホームページ作成には会費の値上げが必要である。ホームページを一度に作り上げるには初期経費がかかるので段階的に進める。他県のホームページや日臨技のホームページを参考にしていきたい。ホームページ上でカレンダー機能や掲示板機能などサイボウズと同様の機能を持たせることも可能であると思われる。ホームページの利用者は少ない状況であるが、来年度はホームページ作成準備期間とし、利用者が増えるよう内容や利便性を充実させていくこととなった。

・岩臨技年会費について

サイボウズ Office、ホームページ作成の経費増加で会費の値上げは必須である。また昨年度は黒字であったが、例年会計は赤字となっている。平成 32 年度岩手県開催の北日本支部医学検査学会経費も足りなくなる恐れがある。岩臨技の会費は 5,000 円であり、北日本では青森県は 8,000 円、山形県は 7,000 円、新潟県は 6,500 円、秋田県、福島県は 6,000 円である。日臨技への報告（次年度の年会費の登録）は 12 月中旬であり、総会で承認を得てからの会費値上げとなるので実際の値上げは平成 32 年度分からとなる。会費が値上げされた分、会員に還元できるよう研修会の充実やホームページの機能を増やし、部門員、各地区役員の業務軽減、利便性の向上につながるようにし、また会員数を増やす方法を今後、検討していくこととなった。協議の結果、会費の値上げ額 2,000 円とし次期総会に諮ることとなった。

Ⅲ各事業について

1、総務部（菊池）

・会員名簿の間違いがさらに数件あった。次回の会報いわてに正誤表を載せることとなった。名簿は 2 年に 1 回出していているが会則には規定はない。作成には労力がかかっている。次回作成する際には日臨技の名簿を利用することとなった。

2、学術部

・初級・職能開発講習会が平成 31 年 3 月 3 日（日）に岩手県立中央病院で行われる。詳細は会報等にてお知らせする。

・認知症対応力向上講習会 B が平成 31 年 2 月 9 日（土）、10 日（日）に岩手医科大学附属循環器医療センター3 階研修室で行われるが定員 15 名に既に達している。

・岩臨技の精度管理調査の報告書は今まで CD-R で郵送していたが、今後は日臨技ホームページからダウンロードするか又はメール添付にしたい。精度管理報告会は平成 31 年 2 月 16 日（土）岩手医科大学附属循環器医療センター9 階で行われる。そのあとに総合管理部門との合同研修会が行われる。

3、公益部（川村）

・検査と健康展 in 北部について

11 月 25 日（日）、二戸ショッピングセンターニコアで行った。実務委員 36 名。（医師 1 名含む）来場者数は 102 名と目標の 100 名に達した。実施内容は実施検査として肺年齢測定機器と血糖測定器を行った。また検査説明相談コーナー、健康啓発パネル展示等を行った。肺年齢検査で借用していた 3 台のうち 2 台が故障しており使用出来なかった。センサーの劣化であると思われる。装置のチェックは貸出の前にメーカーが行っていると思われるが、今後は開催前に装置

の状態を確認したい。テント及びプロジェクタースクリーン等を購入した。(決算書は別紙）総括として広大な面積を持つ岩手県において各地区を地道にきめ細かく巡回することで県民への健康に対する啓発活動と臨床検査技師の認知度向上を行えた。次回は南部地区（一関市）で開催することとなった。

4、生涯教育（宮本）

・助成対象の研修会の登録数が現在 17 件で例年よりペースが遅い状況。講習会、研修会の登録数が現在 36 件でこちらも例年より開催が遅れている。これから 2 月、3 月の開催を加えれば例年通りの開催数になると思われる。

・日臨技精度管理調査サポート助成について

日臨技に問い合わせてみたところ、『日臨技精度管理サポート事業（都道府県技師会開催）助成金』は日臨技の精度管理調査においてＣ・Ｄ評価を受けた施設を対象に結果検討会等の精度管理に関する内容の研修会実施を条件としている。岩臨技の精度管理調査検討会や研修会と一緒に開催しても問題ない。参加人数によるが最大 70,000 円の助成金が出る。日臨技から講師が来るわけではない。プログラムの一例として各分野に分かれて各設問・症例についてそのポイントを解説し、分析分野については基本的な機器試薬管理のポイント、校正・分析の評価方法、内部精度管理の評価方法を考えることで外れ値の発見の仕方やその改善方法等について各施設と意見交換している。開催は県単位で行われる。今年度の開催は難しいので来年度から開催できるよう検討していくこととなった。

5、事務局報告事項（畠山裕司）

・平成 30 年 10 月 6 日から 12 月 7 日までの事務局活動報告（詳細は別紙）

・12 月 14 日、15 日に技師会館で行われる災害派遣技師研修に菊池副会長が参加する。

・2 月 18 日（月）に仙台で行われる臨床検査薬協会主催のプロモーション地区会に高橋常務理事が参加することとなった。

6、各地区活動報告について

〈盛岡地区：川村〉第 68 回研修会を 2 月 2 日に盛岡市立病院で行う。内容は接遇研修と尿沈査検査についてである。研修会終了後に懇親会を開催する予定である。

〈中部地区：相原〉第 3 回研修会を 1 月 26 日に県立胆沢病院で行う。内容は血液凝固関連で凝固検査検体の取り扱いと新しい DIC 診断基準についてである。

〈南部地区：小野寺〉11 月 18 日に第 23 回岩手県医学検査学会を開催した。学会を振り返って気づいた点、問題点、反省点等を表にまとめたので別紙を参照してほしい。最終来場者数は会員 79 名、賛助会員 44 名、一般 88 名の合計 211 名であった。平成 31 年開催担当の中部地区へは宮古地区からのファイルに南部地区分（今学会分）を加え、引き継ぐこととしている。(学会総括の詳細は別紙参照）気仙ボケ一座の公演は大盛況であったが一座の事前アナウンスがあったと思われる。

〈三陸地区〉10 月 6 日（土）に宮古病院イベントホールにて第 2 回研修会を行った。内容は 2 名の講師を招き『腹部・消化管エコーを基礎から学び技術を磨く』と題して講義とハンズオンも交えて開催した。

研修会のご案内

【第 68 回盛岡地区技師会研修会】

日時：平成 31 年 2 月 2 日（土）13:00～16:10
会場：盛岡市立病院　2 階大会議室
内容：①「尿沈渣　形態学を学ぼう（仮)」
　　②「接遇研修　知っておきたい接遇対応（仮)」
生涯教育：基礎教科２０点

【平成 30 年度日臨技北日本支部　染色体・遺伝子検査部門研修会】

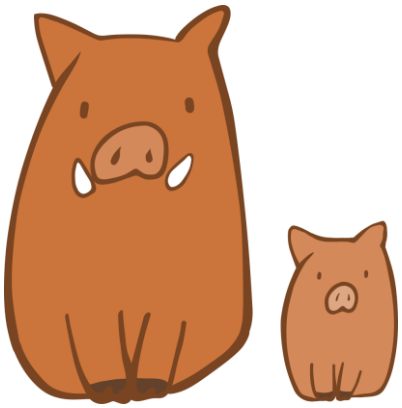
日時：平成 31 年 2 月 9 日（土）12:00～2 月 10 日（日）11：50
会場：福島県立医科大学　8 号館 3 階　N301 講義室
テーマ：身近に感じて学んでみよう！疾病診断・治療に直結する染色体・遺伝子検査
募集定員：100 名（申込期限 1/25）
参加費：会員 5000 円、非会員 8000 円
生涯教育：専門 30 点

【第 24 回岩臨技精度管理調査報告会・総合管理部門研修会】

日時：平成 31 年 2 月 16 日(土)13:30～17:00
会場：循環器医療センター　9 階　2 番講義室
内容：①精度管理調査報告
　　②総合管理部門研修会
　　「被災地内医療活動？災害派遣技師って何？日臨技との連携ってどうするの？」
生涯教育点数：基礎 20 点

【第 2 回岩臨技一般検査部門研修会】

日時：平成 31 年 2 月 23 日（土）14:00～
会場：岩手医科大学附属病院　創立 60 周年記念館　9 階第 2 講義室
会費：日臨技会員　無料、　非会員　5000 円
内容：①尿試験紙の基礎知識
　　②尿検査試験紙の基礎
　　③リコール検査　第 2 弾（仮）



【平成 30 年度初級・職能開発講習会】

日時：平成 31 年 3 月 3 日（日）9:50～16:00（受付 9:30～）
会場：岩手県立中央病院　4F 大ホール
受講料：1,000 円（当日集金）
生涯教育：基礎 20 点
申し込み期間：平成 30 年 12 月 20 日～平成 31 年 2 月 15 日
対象：日臨技に所属する、卒後 3～10 年の正会員および参加を希望する正会員の方
募集人数：50 名程度

＊詳細はHP等でご確認ください

研修会報告

平成 30 年度災害派遣技師研修会に参加して

岩手県立胆沢病院　菊池英岳

12 月 14、15 日に東京の日臨技会館で災害派遣技師研修会が開催され参加して来ました。全国 39 都道府県より 54 名の参加者でした。行くまでは DMAT のような災害医療派遣チームの研修会を予想していましたが、そこまでガチガチなものではありませんでした。1 日目は 4 つの講演を聞き、2 日目はグループに分かれ災害時の机上シミュレーションでした。参集から被災地活動まで設問に沿って話し合い、どういう行動を取るかグループ内でまとめるというものでした。現在災害が起これば、法的には医師、看護師、薬剤師、事務までが派遣の対象となり検査技師の名前はなく、事務要員として派遣されています。今後は医師会や看護協会などとの多職種連携を密にしながら活動が必要とされることが予想されます。Command（指揮と連携）Safety（安全）Communication（情報）Assessment（評価）が運営的に必要な項目とされ、Triage（トリアージ）Treatment（治療）Transport（搬送）が提供される医療支援とされています。検査技師というより、より広範な医療人として臨むことが必要とされることも学びました。これまでの阪神淡路大震災や東日本大震災、洪水や土石流などの自然災害での事例を基にこれまでの取り組みについて話されました。現場ではマニュアル通りに行かないことや、どれが正しいかという正解もなく、臨機応変で被災者に寄り添った行動が要求され、押し付けがましい行動は、被災者から受け入れられないだけではなく、チーム全体の評価を悪くすることにもなってしまうので気を付けることということが大切だという話が印象的でした。2 日目の机上シミュレーションは実際に災害が起きたと仮定して、被災地に行くまでの準備や到着後の行動などを設問に対して個々の考え出し合いグループとして発表するというものでした。わたし 1 人では考えが付かないことが、他のメンバーからで出たときは感動しました。私自身 DVT に参加したことがありますが、エコーができずはがゆい思いをしたことがありました。しかし今回の研修会で、できることはこれだけではないということを知り安心しました。避難所で検査技師としてできることは限られますが、被災した病院の検査室を復旧させることなどロジスティクスなことも一つの役割であることということも学びました。今後起こり得る災害時にいつでも対応できるように頭と体の準備を整えておき、要請が来たら今回の研修会で学んだことを生かして、被災者に迷惑をかけず感情に流されず冷静に発揮していきたいと思います。

これからも、このような研修会が開催されると思いますが、会員の皆様も躊躇することなく参加しましょう。

第024号

修了証書

菊池　英岳　殿

平成30年度　災害派遣技師研修会

あなたは上記において所定の課程を修了したことを証します。

平成30年12月15日

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

代表理事会長　宮島喜文

“つなぐ”　今回の『つなぐ』は県立磐井病院の千葉優希さんです

今回、県立千厩病院の浅沼弥姫さんから引き継ぎました県立磐井病院の千葉優希です。浅沼さんとは同期入局で、研修会等で会った際には明るく話しかけてくれます。前回のつなぐでは、温泉めぐりと秋田犬について触れていましたが、秋田犬、とてもかわいかったですね。私も犬が好きなのでぜひ会いに行きたいです。

私は、大学時代の友人に会う目的とリフレッシュを兼ねて、毎年東京・神奈川方面へ観光に行っています。友人と今回の行き先を相談していたところ、SNS で話題の抹茶スイーツについての投稿を発見しました。その中で、特に惹かれたのは「世界一濃い抹茶アイス」のお店です。そのお店が浅草にあるということで、私たちは浅草を観光することにしました。今回は、その際のことを中心にお話したいと思います。

浅草に行く前にまず品川で友人と待ち合わせし、品川にある水族館で海の生物に癒されました。その後、浅草へ向かい、駅に到着したのは 16 時頃。お店の閉店時間まであと 1 時間もなかったため、すぐさま浅草の街へ繰り出しました。経路が分からず苦戦していたところ、俥夫のお兄さんに「人力車どうですか？」と声をかけられました。コースの説明中に、お店を探していることを伝えるとそこまで乗せてくれるとのことで、せっかくの機会だからと人生初の人力車に乗ることにしました。

乗車中、人力車や浅草に関して、メジャーな話から普段耳にしないような裏話なども聞くことができました。人力車の扱いは軽車両と同じだそうで、道路には数台の人力車が走行していました。休日は混雑してスムーズに進めないそうですが、平日だったためスイスイと進みとても快適でした。人力車はなかなか走るのが速く、自転車くらいの速度で進みます。重い荷物を引きながら走っているのに俥夫さんは息切れもせず、話も途切れません。プロはさすがだなと思いました。

そしてついに抹茶アイスのお店に到着しました。抹茶の濃さを 7 段階から選べるようになっており、俥夫さん曰く、「7 段階目は苔のような味がする」とのことでしたが、実際に食べてみると、抹茶の濃厚な風味が口いっぱいに広がり、美味しくいただけました。抹茶好きにはたまらないと思います。その後は浅草寺や仲見世も巡りました。浅草寺で引いたおみくじは凶でしたが（浅草寺のおみくじは凶が多いという説があるようです…）、充実した浅草観光をすることが出来ました。

次回は、同期の県立釜石病院の佐藤美咲さんに引き継ぎたいと思います。いつも色々と助けられています。今回も引き受けてくれて感謝です。よろしくお願いします。

検体採取等に関する厚生労働省指定講習会受講義務者について

平成 30 年 12 月 12 日厚生労働省医政局医事課発事務連絡が発出されました。平成 28 年 4 月 1 日より前に入学・入所した学生・生徒は新たに検体採取を行おうとするときは、あらかじめ厚生労働省指定講習会の受講が必要です。日本臨床衛生検査技師会の「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会」は平成 31 年 12 月で終了です。まだ受講されていない方は必ず受講しましょう。

平成 30 年度岩臨技精度管理調査報告会開催のお知らせ

平成 30 年度（第 24 回）岩臨技精度管理調査報告会・総合管理部門研修会

日　時：平成 31 年 2 月 16 日（土）午後 1 時 30 分より午後 5 時まで

会　場：循環器医療センター　9F　2 番講義室

精度管理調査報告（13：40～16：00）

1）臨床化学　：生化学 27 項目、HbA1c
2）免疫血清　：HBs 抗原，HCV 抗体
3）微生物　　：フォトサーベイ，薬剤感受性試験、同定試験
4）血液検査　：血算，フォトサーベイ
5）一般検査　：フォトサーベイ
6）輸血検査　：血液型，抗体スクリーニング
7）病理検査　：HE 染色

総合管理部門研修会（16：00～17：00）

「被災地内医療活動？災害派遣技師って何？日臨技との連携ってどうするの？」

座長：畠山　秀樹　（岩臨技　学術部長）

講師：千葉　寛　先生（盛岡市立病院）

★☆編集後記☆★

年末年始、皆様はどのようにお過ごしになられましたか？私は実家に帰省し約一年ぶりに両親と再会、お酒を飲みながら昔話が盛り上がり楽しいひと時を過ごしました。父と母は孫達と会うのも一年ぶりで、長女の変貌（化粧時）ぶりに驚いておりました。

昨年を振り返ると北海道胆振東部地震や大阪府北部地震、7 月の豪雨災害など自然災害が多い年でした。日頃の災害に対する備えは家庭だけではなく、職場でもリスクを考え対策が必要だと思います。最後に今年一年が皆様にとって素晴らしい年でありますように心からお祈り申し上げます。（相）

会報「いわて」第 323 号 2019.01

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会　　長　：　行森良一

事　務　局　：　畠山　裕司

編集責任者　：相原淳路

小野寺絵美

〒020-8505　盛岡市内丸 19－1 岩手医大中検内

Tel.(019)651-5111 内線 3746　Fax. (019)654-8510

http://www.iwateamt.or.jp/

会報専用メールアドレス：

kaiho@iwateamt.or.jp